



# Alma Mater SAPIENTIA

Vol. 16  
Oct. 15, 2001

発行：英知大学同窓会  
〒661-8530  
兵庫県尼崎市若王寺2-18-1  
発行責任者：野村 裕  
編集：英知大学同窓会

- 真の大学発展を願って.....1
- 追悼ミサのお知らせ.....2
- 関東支部だより.....1
- 教職員へのアンケート.....3
- 今の学生と関わって.....2
- 今日の大学生への就職支援のあり方.....4
- 英知大学、公開討論会.....2
- ローラスと英知.....5
- 計報.....2
- QUESTION IT.....6,7,8

## 真の大学発展を願って

会長 野村 裕

今年の夏は、例年に無く猛暑の日々が続き、秋に入ってもまだ暑い日が続いておりますが、会員、準会員の皆様にはお変わり無く、お元気で活躍のことと思います。世情では、IT産業の不況、株価の暴落、デフレスパイラルにより経済不況に陥っており、先日も悲しいテロ事件、殺人事件、子供への虐待等全世界が大きく揺れ動いております。そんな厳しい社会情勢の中、役員一同、仕事をしながら月一回の役員会をこなし努力しているつもりであります。同窓会活動は言うまでもなく、「会員相互の親睦、大学の発展」の為の

## 関東支部便り

あの忌まわしい同時多発テロは一生記憶に残るでしょう。

私にとつてはミステリー小説の世界でしかなかった事が、現実には起きてしまったテレビ中継を見ていながらでも、あたかも映画を見ているような錯覚に陥ってしまうと言えれば分って頂けたいでしょうか？思い起こせば、米原潜のえひめ丸への衝突といひ、長距離哨戒機(AWACS)と、中国軍機との接触事故といひ冷戦時代の米軍では考えられないようなヘマをやらかした現在のアメリカなのでテロに対しても警戒が足りなかったのか、或いは他に理由が

活動であります。我々、役員を引き継ぎ数期やらせていただいてる年月で、会員及び大学当局からの批評といひますか、明確な反応が伝わってきません。我々もボランティア活動での同窓会運営であり、我々の活動が皆様にどのように受け止められているのか、又評価されているのか、が分りづらいうちでの活動内容であり、将来展望でもあります。

日々、「これでもいいのか」と自問自答しながらの活動状況であります。そのひとつの試みとして、今回、大学当局に許可を求めず、独自判断で現教職員全員の方に送付形式でアンケート調査をご依頼し、ご回答をいただきました。結果を見ていただければ分りますが、回答者(回収者)が極端に少なくいかに無関心、非協力的であるかという事です。

我々が、大学の発展を願ひ、開かれた大学を求めているにも拘わらずこの現状であります。ご協力をいただいた方々には感謝いたしますが、少数回答での考察はしにくく、客観的判断にはなり難いですが、一つの

評価として見ていただければ幸いです。各々の方々からご意見をいただきましたが、非常に悲しかったことは、我々まじめに取組んできたつもりが、誹謗中傷的な意見があり心悲しい事でありました。また、評論家のご意見が多く、共に大学発展に努力しようとする気概に欠けているように感じました。

主体的に活動するのは我々会員ではありませんが、大学運営及び卒業生を送り続けるのは、教職員の方々ではないのでしょうか。これは、大学運営が個別個人主義になり、全体的組織運営がなされていないのではないかと、ある方は「大学の危機」ともおっしゃっております。

この現状を我々は特に意識を持ち、評論家にならず、自ら主体的に問題に取り組み姿勢が非常に必要な時代、時期になったものと考えます。この状況を打破する為、卒業生、在校生、教職員の方々と共に「真の大学発展」を問ひ、行動を起そうではありませぬか。

来年は役員の若返りをしましたので心機一転支部会員に喜んで頂けるイベントを企画していきたいと考えて居りますので皆様のご協力、よろしくお願ひいたします。

最後になりましたが英知の同窓生の神田ロムさんがニューヨークで俳優の修行をしているのですがテロがあったので、ニュースでは見られな生々さが伝わって来ますので、是非ご一読ください。

78 仏文卒 永森 孝夫

こじんまりして和気藹々と会話は弾みますが少し寂しい。色々工夫はしているのですが結果は厳しいですね。

















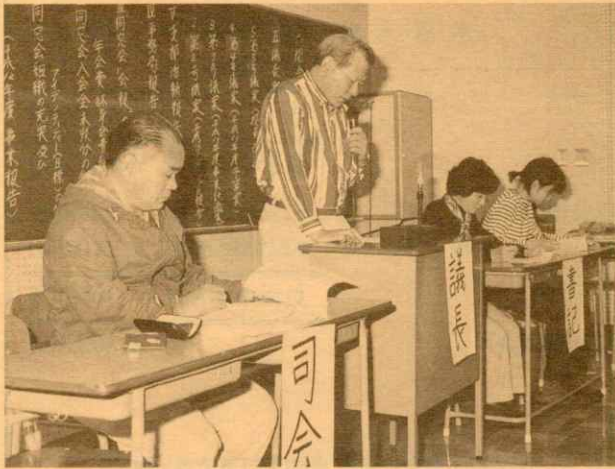


# ホームカミングデー報告

11月3日同窓会主催のホームカミングデーを開催。皆さんもご存知の事と思いますが、同窓会の予算は縮小する一方で十分な予算をとれない状況にあります。そこで、役員は手作りのおもてなしをして、少しでもアットホームな気分を味わっていただこうと工夫をいたしました。ケータリングのメニューを極力減らし、役員自ら模擬店を出す！事に致しました。ホームカミングデー当日、仕込み調理と、工夫を凝らし参加して頂く会員の皆様に喜んで頂こうと年代を超えた友情とチームワークで何とか成功に会を執り行うことが出来ました。そして、会員の皆さんの喜ぶ顔に幸せを感じながら役員はホスト役を完遂することが出来ましたことを、この紙面を借りて報告致します。

今回のホームカミングデーの目玉は、揚子江ラーメン・恒例のたこ焼きそして、パエリア！瞬間になくなる料理、懐かしい顔にいっぱいの微笑みで若返った会員の皆様の楽しそうな顔と顔。つかの間、学生時代に戻って元気を取り戻して頂いたものと感じました。一年に一度のホームカミングデーにぜひご参加下さい。英知のキャンパスと懐かしい仲間が心からお待ちしています。最後に、パエリアは最高の味との評判でした。下の写真は当日の風景の一部です。本年も11月にお会いしましょう。お楽しみに！

'80 イスパニア文学科卒 和田 隆



“お久しぶりてーす。”当日開かれた'76卒業の同窓生達